

6

計画の推進に向けて

食育は、個人の食生活に関する問題であることから、こどもから成人、高齢者に至るまで、県民一人一人が理解し、主体的に取り組むことが何よりも重要です。

加えて、世帯構造や生活の多様化といった食育をめぐる状況の変化を踏まえると、より一層食育を推進しやすい社会環境づくりが重要になっており、家庭、学校、幼稚園、認定こども園、保育所、地域、企業を含む民間団体等のそれぞれが役割を分担し、連携しながら、取組を推進していく必要があります。

(1) 推進体制

《県の推進体制》

●和歌山県食育推進会議、和歌山県食育推進本部

教育関係者、健康・栄養関係者、消費者団体、生産者・事業者団体、地域活動団体、メディア関係者、学識経験者、行政等で構成する和歌山県食育推進会議において、第4次和歌山県食育推進計画に基づく食育活動を推進します。

また、県庁内の関係部局で構成する和歌山県食育推進本部において、食育の推進に関する県施策を総合的かつ計画的に推進します。

《市町村の推進体制》

●市町村食育推進会議等の設置

地域の特性を活かした食育を推進するためには、より県民に身近な行政機関である市町村が食育に取り組むことが重要となります。

このため、各市町村に市町村食育推進会議等を設置するなど、幅広い分野の関係者、関係団体の意見も聞きながら、地域の特色をより一層活かした市町村食育推進計画を作成し、実施していく必要があります。

県においても、市町村の食育推進体制の整備が図られるよう、積極的に働きかけを行います。

(2) 関係者の役割・連携体制

〈県の役割〉

食育に関する施策に総合的かつ計画的に取り組み、計画の実現に向けて、県民一人一人が食育を実践する機運の醸成や各関係機関・団体等における自主的な取組が促進されるよう努めます。

〈市町村の役割〉

県との連携を図りつつ、市町村食育推進計画の作成や食育推進会議の設置を進め、家庭、学校、幼稚園、認定こども園、保育所、地域を結び、関係機関・団体等と連携して地域の特色を活かした食育の推進に積極的に努めるものとします。

〈家庭の役割〉

県民一人一人が、食育が重要な役割を持つことを十分認識し、日常生活における食育の実践に積極的に努めるものとします。特に、共食を通じた食育の推進に取り組むよう努めるものとします。

〈教育関係者等の役割〉

食育推進体制の整備や関係職員の資質向上に努めるとともに、栄養教諭等が中心となり、学校全体で食育を推進するよう努めるものとします。また、家庭や地域等と連携しながら、こどもの食育の推進に努めるものとします。

〈生産者の役割〉

農林水産業に関する様々な体験・交流の機会を積極的に提供し、食に関する県民の理解を深めるとともに、学校給食への地場産物の供給等、地産地消への取組を推進するよう努めるものとします。

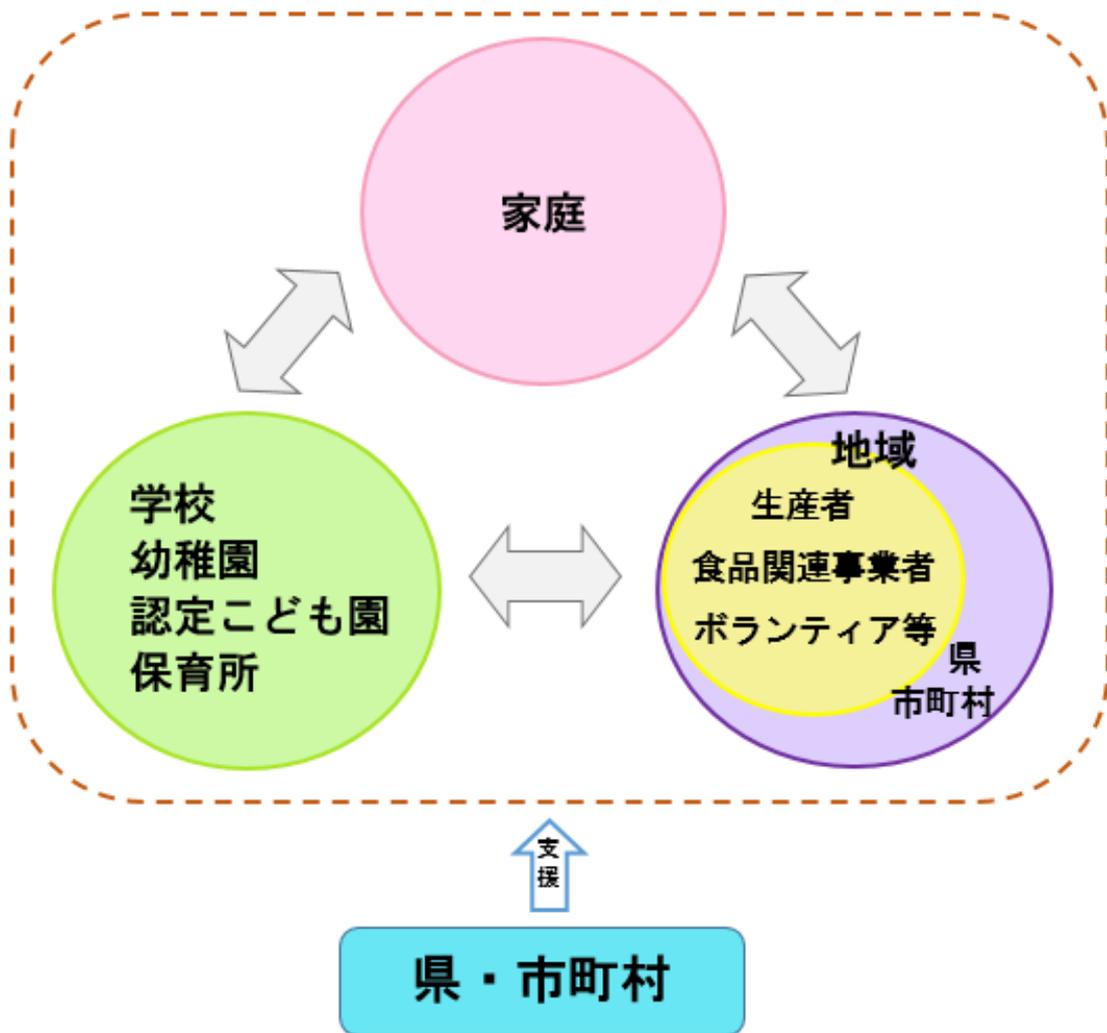
〈食品関連事業者の役割〉

食品の安全性の確保、適正な食品表示はもとより、地場産物を活用した食品の提供、食育に関する様々な体験活動の場の提供、栄養成分等の食に関する情報提供、食品ロスの削減に取り組むよう努めるものとします。

〈NPO、民間団体の役割〉

各組織の特色を活かし、県民の食育の実践につながる効果的な活動を展開するよう努めるものとします。また、他の組織と相互に連携・協働しながら、地域の実情に応じた食育を推進するよう努めるものとします。

《食育推進に係る連携体制のイメージ図》



(3) 計画の推進・進行管理

この計画に位置づけられた食育の取組は、県及び各種団体、関係者が相互に密接に連携し、総合的・計画的に推進するとともに、県の施策の進行管理については県食育推進本部が行い、それぞれ毎年度、県食育推進会議に報告します。

また、本計画の目標年次である 2029 年度（令和 11 年度）までに、状況の変化等が生じた場合は、必要な措置を講じることとします。